

令和6年度 参加者の声①



小野田 諒太さん
(高校3年)

他の学校、年齢の人たちと政策について議論をしたことで様々な考えと挑戦する意識が芽生えました。

政策を考えるプロセスを学べたことも自分自身の成長につながったと思っています。政策は私たちの生活をよくすることに貢献しているもののそれが作られる過程についてはわからない部分が多いです。しかし今回のプロジェクトを通してそれについて深く知ることができました。

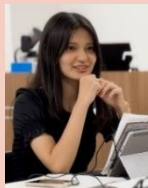
何かに挑戦することで新たな学びを得られることを強く実感することができました。



高橋 心花さん
(高校3年)

この半年間、何回も議論を重ねました。議論が進むにつれて、楽しかった半面、半年後に知事の前で提案をするのがかなり不安で、どうなっていくんだろうという不安の方が大きかったです。しかし、知事提案当日は、都知事の前でみんなで今まで練ってきたものを発揮することができ、かけがえのない思い出になりました。

このメンバーとはずっとこれからも連絡をとりあって、この関係を続けていきたいと思っています。



飯尾 むつはさん
(高校2年)

中高生の私達が選ばれたからこそ、等身大の自分達の思いを意見に反映させることを重要視しました。

活発に議論が進む環境は、私にとって学びの宝庫であり、アイデアが具現化されることに対する喜びはとても大きいものでした。私が思い付かない意見も多く挙がり、視野が広がり、何よりもプラスの刺激を幾度となく受けることができました。

学校も学年も異なる12人のメンバーで1つの目標に向かって邁進した日々はかけがえのないものでした。この素晴らしい半年間は、間違いなく私の高校生活のハイライトです。



豊田 英杜さん
(高校2年)

政策アイデアを具体化する過程で、多様なバックグラウンドを持つ同世代の仲間と議論を重ね、それぞれの視点や価値観が交錯する中で、社会課題への理解が深まり、新しい視野を広げることができました。

また、自分の意見を相手に分かりやすく伝えるスキルや、他者の意見を尊重しながら議論をまとめる力が求められ、自分自身の成長を強く実感しました。

このプロジェクトを通じて、政策を「自分事」として捉える大切さを学びました。今後も地域や社会に貢献できる活動に積極的に挑戦していきたいと思います。

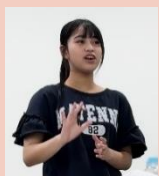


永島 康平さん
(高校1年)

ゴールに向かってプロセスを踏んで理由だったり、情報を集めていくという作業がすごく楽しかったです。中高生が集まって知事に実際に提案するというところまでいくというのがすごく光栄なことだと思いました。

参加メンバーはみなさん頭の回転が速くて、有意義な時間を過ごすことができました。

グループワークの後半や政策提案はオンラインで参加する形にはなりましたが、セットアップなど配慮していただき、同じ場に参加することができて嬉しかったです。



神山 凜さん
(高校1年)

学校も学年も違う人と議論を進めるため、自分とは違う立場で物事を考えることを身につけられたと感じました。また、日本マクドナルドなどの企業を訪問した経験から直接話を聞くことや見ることは大事だと改めて感じることができました。

1番印象に残っているのは、小池都知事への政策提案です。自分たちの案を発表するのは緊張しましたが、今まで会議を行い、政策案を完成できたという達成感を感じることができました。

令和6年度 参加者の声②



神保 想叶さん
(中学3年)

一番印象に残っているのは、政策提案です。実際に今まで議論してきて、発表資料も細かいところまで工夫してきた中で、それを実際に知事に対して提案するというのがすごく貴重な経験になりました。

また、夏休みに企業訪問をする機会を設けていただいて、すごく勉強になりました。ファシリテーターの方々や、東京都の方々に、すごく支えられている感じがプロジェクトを通してありました。このプロジェクトに参加させていただけてすごくよかったなと思います。



毛利 友希乃さん
(中学3年)

学校も学年も違うメンバーと一緒に活動できたことは、私にとって千載一遇の機会だったように思います。また議論や企業訪問などを通して、自分の将来の姿や働く意義について熟慮することができ、よい経験になりました。

このプロジェクトを通して、中高生メンバーをはじめさまざまな人と繋がったことで、人間関係構築力を高めることができました。そしてミーティングや企業訪問、知事提案などの経験からリーダーシップや協調性が身についたようにも思います。



奥村 心結さん
(中学3年)

本プロジェクトは、たくさんのお出会いと学びの場となりました。集まったメンバーは、誰もが高い意欲を持っていて、毎回の議論がとても楽しみでした。

そして、職員の方々が、私たち中高生の意見を必要とし、大切に扱ってくださったので、活発に活動することができました。

さらに、たくさんの方の意見を聞いて、自分の意見を主張し、また意見を聞いたり、というプロセスを体験できたことは、今後の大きな糧となりました。思い切って応募したプロジェクトでしたが、参加を決断してよかったと心から思います！



末木 花歩さん
(中学2年)

中間報告会での東京都職員との意見交換では、とにかくありのままの中高生としての意見を引き出そうとしてくれるのを感じました。「私たちはあなたたちの意見を聴きたいんです、あなたたちの意見を取り入れたいんです」という思いがすごく伝わってきてすごく嬉しかったです。

私はどうせ伝わらないと諦めてしまうことも多かったけど、あきらめないで聞いてくれようとしてくれる人もいることが分かったので、ありのままの自分で、自分がどうしたいかということをこれからも伝えていきたいなと思いました。



丸山 世楠さん
(中学2年)

中1から高3までの年齢や育った環境が違う仲間たちと、一つの目標に向け意見交換をすることで、お互いに新たな視点からの考え方を知ることができてとても良い学びになりました。

また企業訪問させていただき、実際に働いている方々に僕たちが考えていることをプレゼンをし、意見交換をさせて頂いたことがとても勉強になり、これからの学校生活や社会に出てからも役立つような体験をさせていただきました。

そして最終案を都知事へ政策提案させていただいた事で、メンバー皆で達成感を分かち合う事ができました。



吉武 凜さん
(中学1年)

私は自分の意見を他人に伝えるのが苦手で、反対されるのが嫌で、友達に合わせてしまうところが多かったです。

でも、このプロジェクトでは自分の意見を積極的にいうというのが大事で、自分の意見をちゃんと聞いてくれたり、賛成してくれたり、たまにアドバイスしてくれるなど、すごく優しい対応をしてくれました。

自分の意見を言うというのはそんなに難しいことじゃないんだと気づき、今の中学校生活でも積極的にいろいろなものに手をあげられるようになりました。